

国際シンポジウム

東アジア研究の新たなる視座：過去、現在、未来

New Perspectives on East Asian Studies

-Past, Present, and Future-

[日時] 2010年1月30日(土) 開始 10:30 (開場 10:10)

[会場] 学習院大学 西2号館501教室 [交通] JR目白駅より徒歩1分

[主催] 学習院大学東洋文化研究所

[後援] 学習院国際交流基金

◆基調講演 (keynote) 10:35～11:35

「衝突と和解：東アジアの歴史記憶」

楊 彪 (中国上海華東師範大学)

「東アジアにおける知識人連携の重要性」

Ho-min, Sohn (米国ハワイ大学)

◆第1部 近代東アジアの青年と啓蒙 13:00～14:50

座長 梅森 直之 (早稲田大学)

「『大正デモクラシー』状況下における『院外青年』運動と立憲青年党」

伊東 久智 (早稲田大学)

「大正期台湾人の『内地日本留学』と新世代政治青年の誕生」

紀 旭峰 (学習院大学)

「1910年代在日朝鮮人留学生の出版活動と思想」

小野 容照 (京都大学)

「非政治的な政治：戦前台湾民族運動における大正文化主義」

呉 叡人 (台湾中央研究院)

◆第2部 東北アジア情勢の現状と展望 15:10～17:00

座長 磯崎 典世 (学習院大学)

「KEDO後の非核化問題」

李 正勲 (学習院大学)

「関与 (engagement) からみる包容政策と相生共栄政策の比較検討」

中戸 祐夫 (立命館大学)

「6者会談と東北アジア平和体制の構築」

李 虎男 (立命館大学)

「Japan's Role in the Six-Party Talks」

Maaïke Okano-Heijmans

◆総合コメント 張 華 (中華民族大学) 17:00～17:20

(Asia Studies at Clingendael Institute, The Hague)

学習院大学東洋文化研究所

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1(学習院大学内北1号館4階)

TEL:03-3986-0221(内線6360) FAX:03-5992-1021 E-mail:ori-off@gakushuin.ac.jp

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc/>